

「2022年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学文学部2年 山岸哲平

今回の韓国スプリングスクールへの参加を通して、現地で韓国語を学ぶことで韓国語を学ぶ意欲がますます高まったのに加え、大きく2つのことについて大きな知見を得た。まず、3週間という短い期間ではあったが、韓国の社会、文化についての理解が以前よりも大きく深まったことである。韓国というと人気の観光地である反面、反日というイメージも強く、少し身構えていたところもあったが、実際に行ってみると、ほとんどの方が思った以上に優しくとても驚いた。さらに、日本と韓国が様々な点で非常に似ていることにも驚かされた。一部を切り取って、「ここは日本です」と言われても不思議ではないくらい似ていた。自分は渡航前、韓国は日本人にも人気で面白い場所ではあるが、反日意識も強く、なんとなく地理的關係以上に遠い存在に思っていた。しかしふたを開けてみればこうしたイメージが多くの場合ステレオタイプであった。自分が日本の報道からいかに無意識に韓国に対するイメージを形成していたかを思い知らされた。実際に現地に行ってみて自分の経験として得た知見ほど価値のあるものはないと感じた。また、これは韓国に限ったことではないが、大学生のうちに日本以外の社会での生活を経験できたことは、とてもよかった。今まで日本を出たことがなかった自分は、無意識に日本社会を絶対視してしまいがちであったが、一度でも異なる社会を経験できたことで、日本社会を相対的に見つめる視点を養えたと思う。こうした視点をグローバル化していく世界で生きていくうえで活かしていきたい。さらにもう一つ得た知見は、自分の仲間との協調性、協同性、コミュニケーション力の可能性である。今まで友達と過ごすにしても数日ほどしか経験がなかったので3週間の共同生活に当初少し不安を感じていたが、いざ始まってみると、とても楽しく3週間を過ごすことができ、むしろ終わってしまうのがとてもさみしく感じてしまうほどであった。また、語学堂の授業では、多くの外国人留学生と一緒に韓国語を学習するが、ここでも積極的にいろんな人に声をかけて楽しい時間を作ることができた。自分は昔からどちらかというと一人で行動するというタイプであり、協調性や協同性、コミュニケーション力はあまりないと勝手に思っていたが、この3週間、こうした経験を通して、自分の新たな可能性に出会えた。これからは自分の可能性を自分で否定することはせず、積極的にいろんなことにチャレンジしていきたい。

3週間のうち、平日は大学に行って授業を受けた。語学堂での授業は、4技能4時間で構成されていて、使用言語は韓国語であった。先生はとてもやさしく、質問にも丁寧に答えてくれた。クラスは15人前後で、色々な国籍の人と関わった。正規過程では10週間あるので、そのうち3週間で終わってしまうのには、名残惜しさを感じなくはなかった。平日の午後と休日は観光をした。特に思い出に残ったのは5人ほどでDMZ(非武装地帯)ツアーに参加したことだった。板門店には行けなかったものの、展望台から北朝鮮が望めた時には思うところも多かった。軍事境界線は線とはいうものの鉄線などで線が引かれているわけではなく、行こうと思えばすぐ行けそうに思ってしまう。しかし実際には南北の往来はできない。展望台から戻った後に鳥を見たとき、土地に勝手に国境という名の線を引いてにらみ合っている人間の無力さを感じた。

このプログラムを通して、韓国のこと、ひいては海外について一層の興味を持った。今後はこうしたプログラムにまた参加したり、まだ海外に行ったことのない友人に勧めたりして、海外について知ろう、理解しようという努力を続けていきたい。また、将来も国際的に活躍できるような仕事をしたいと強く思った。

英語の授業(Koh先生)の感想

It was interesting for me to study a relationship between Confucianism and gender. Especially, I was interested in third class, about Confucianism and feminism. I had thought that Confucianism and equality

of gender were confrontation each other and it is difficult to make Confucianism compatible with value of gender equality. However, I was surprised that the script of Confucian are originally not for men but for all humans including women and the practice of Confucianism taken by many governments made Confucianism for men. Even in the society of Confucianism like Korea, it is possible for Confucianism and gender equality to be compatible with each other. It was a new idea for me. However, I think it would be better to make clear the section of discussion. By doing so, it would be easier for students who are not good at declaring opinions by raising hands to take part in the discussion.

Professor KOH was truly kind for us and took care of us well. I wanted to keep attending the class. Though the class, I was able to learn the atmosphere of the class of Yonsei university. I want to make this experience useful in Kyoto university.

韓国語で一言

3 주간 정말 감사합니다! 이 경험을 절대 잊지 않습니다! 또 한국에 가고 싶습니다! 안녕히 계세요.